

第 5 回能登半島すずウルトラマラソン 大会報告レポート集

平成 28 年 10 月 16 日開催



能登半島珠洲ロードレース協会

作成：株式会社日本旅行（企画協力）

1. 大会総括

5 回目を迎え、昨年に続き、参加者数は一昨年が 486 名、新幹線が開業した昨年は 793 名と大きく伸びたが、今年は越後くびきのマラソン（10 月 2 日）、金沢マラソン（10 月 23 日）の開催による影響で 594 名（継走の 72 名を含む）となった。また、今年も能登半島震災復興基金からの支援を受け、交流事業として継走タイプを同時開催した。参加者は昨年の 120 名（30 組）から 72 名（18 組）に減少した。石川県外参加者は 77% となり、また、リピーター率は 4 割弱となった。継続して全国各地から参加いただいていることは、交流人口の拡大および経済効果の面で大きく地元貢献し、経済効果だけでも 1500 万近くの効果が地元および奥能登にあったと想定される。

参加者の評価としては、地元ボランティアの献身的かつ臨機応変の対応による評価が高水準の 93 点となり、昨年のランネットレポート評価第 9 位から第 3 位に大きくランクアップした。

参加者減少による収入減の影響で大会収支については、赤字が想定されるが、今大会の評価によって、来年は参加者数が増えることが想定される。

当レポートにある参加者の皆様のご意見等をふまえ、第 6 回開催の準備を進めていくこととする。

2. 大会概要

大会テーマ 「心はひとつ、道は厳しく、人はやさしく能登の道」

～地元のボランティアを中心とした能登の人のやさしさたっぷりの大会を目指します

1) 大会概要

■大会名	第 5 回 能登半島すずウルトラマラソン 第 2 回 能登半島すずウルトラ継走大会
■主催者	能登半島珠洲ロードレース協会（第 5 回 能登半島すずウルトラマラソン実行委員会） 会長： 桜井久一 実行委員長： 田中満博
■開催日	平成 28 年 10 月 16 日（日）5：00 スタート
■開催地	石川県珠洲市、輪島市
■種 目	◇100 キロの部（102 キロ）制限時間 14 時間 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～八太郎峠～町野～舟木谷峠～千枚田＜折返し＞～舟木谷峠～町野～曾々木～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台～三崎町～珠洲健民体育館 ◇60 キロの部（62 キロ）制限時間 9 時間 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～大谷峠～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台～三崎町～珠洲健民体育館 ◇継走の部（4 人 1 組）100 キロコース同様
■後 援	石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、北國新聞社
■企画協力	(株)日本旅行

3. 参加者分析

1) 参加者数と完走率

100キロ 男性	申込者:330 人 申込者:438 人	出走者:289 人 出走者:403 人	完走者:203 人 完走者:278 人	70.2% 68.9%
100キロ 女性	申込者:57 人 申込者:61 人	出走者:52 人 出走者:60 人	完走者:39 人 完走者:43 人	75.0% 71.6%
60キロ 男性	申込者:96 人 申込者:139 人	出走者:83 人 出走者:131 人	完走者:65 人 完走者:103 人	78.3% 78.6%
60キロ 女性	申込者:39 人 申込者:35 人	出走者:33 人 出走者:32 人	完走者:22 人 完走者:26 人	66.6% 81.9%

継走大会は 18 組全て完走 * 下段は昨年度実績

2) 都道府県別

	都道府県	100K 男性	100K 女性	合計	60K 男性	60K 女性	合計	合計	継走 組数
1	北海道	4	1	5		1	1	6	
2	青森県	1	2	3				3	
4	宮城県	1		1				1	
8	茨城県	1		1				1	
9	栃木県		1	1				1	
10	群馬県	3	1	4				4	
11	埼玉県	13	1	14	4	3	7	21	
12	千葉県	13	3	16	1	1	2	18	
13	東京都	33	6	39	9	6	15	54	1
14	神奈川県	17	5	22	4	2	6	28	
15	新潟県	5	2	7				7	
16	富山県	19	2	21	9	1	10	31	2
17	石川県	64	5	69	37	10	47	116	10
18	福井県	3		3	2	1	3	6	
20	長野県	6	1	7				7	
21	岐阜県	11		11	4		4	15	1
22	静岡県	5	1	6				6	1
23	愛知県	40	11	51	13	6	19	70	2
24	三重県	9	1	10		1	1	11	
25	滋賀県	10	1	11				11	
26	京都府	6	1	7	1	2	3	10	
27	大阪府	23	7	30	7	4	11	41	
28	兵庫県	23	4	27	4	1	5	32	1
29	奈良県	3		3				3	
30	和歌山県	3		3				3	
33	岡山県	1		1				1	
34	広島県	6		6				6	
35	山口県	3		3				3	
37	香川県	2		2				2	
39	高知県				1		1	1	
40	福岡県	2	1	3				3	
総計		330	57	387	96	39	135	522	18

石川県外比率は 77.7%

3) 年齢別

	100K			60K				年代別 比率
年齢	男性	女性	合計	男性	女性	合計	総計	
19	1		1				1	8.2%
20	1		1				1	
21	4		4				4	
22	1		1		1	1	2	
23	3		3	2		2	5	
24	9		9	2		2	11	
25				1		1	1	
26	4	1	5	1		1	6	
27	5		5				5	
28	1		1				1	
29	4	1	5		1	1	6	
30	7	1	8	1		1	9	21.1%
31	8	1	9	4	1	5	14	
32	3		3		2	2	5	
33	12	1	13	3	1	4	17	
34	3	1	4	2	1	3	7	
35	6	1	7	1		1	8	
36	8	2	10	5	1	6	16	
37	7	2	9	1	1	2	11	
38	7	2	9	5		5	14	
39	4	1	5	4		4	9	33.5%
40	9	3	12	4	3	7	19	
41	12	2	14	1	1	2	16	
42	9	2	11	1	1	2	13	
43	8	2	10	1	1	2	12	
44	8		8	6	2	8	16	
45	16	3	19	1	2	3	22	
46	10		10	2	1	3	13	
47	15	3	18	2		2	20	
48	14		14	3	2	5	19	
49	11	4	15	8	2	10	25	24.5%
50	11	3	14	5		5	19	
51	11	2	13	2	2	4	17	
52	5		5	4		4	9	
53	10		10	2	1	3	13	
54	11	6	17	1		1	18	
55	10	4	14	4	3	7	21	
56	5	1	6		1	1	7	
57	6		6	3		3	9	
58	4	1	5		1	1	6	
59	4	1	5	2	2	4	9	12.6%
60	8	3	11	1	1	2	13	
61	3	3	6	2		2	8	
62	5		5				5	
63	6		6	1	1	2	8	
64	3		3	1		1	4	
65	6		6	3	1	4	10	
66	6		6	1		1	7	
67	1		1	2	2	4	5	
68	2		2	1		1	3	
69	1		1				1	
71	2		2				2	
合計	330	57	387	96	39	135	522	100.0%

4. 第4回大会参加者からの評価

ランネット評価

① 大会ランキング（ウルトラマラソン部門）12月15日現在

全国のウルトラマラソンの部 第3位（93.5点）レポート数32件

（参考）昨年度 全国のウルトラマラソンの部 第9位（94.1点）レポート数30件

大会ランキング一覧

地域別	性別	年代別	大会規模別	種目別	
開催年	2016年 ▼	開催月	年間 ▼	種目	ウルトラマラソン ▼
順位	評価平均点	大会名			
1	95.7点	第11回隠岐の島ウルトラマラソン(島根県)			
2	94.8点	第6回 北オホーツク100kmマラソン(北海道)			
3	93.4点	第5回 能登半島すずウルトラマラソン（同時開催 能登半島すずウルトラ継走大会）(石川県)			
4	91.8点	第11回えちご・くびき野100kmマラソン(新潟県)			
5	90.1点	第11回戸田・彩湖フルマラソン&ウルトラマラソン(埼玉県)			
6	90.0点	第19回村岡ダブルフルウルトラランニング(兵庫県)			
7	89.4点	第4回白山白川郷ウルトラマラソン(石川県)			
8	89.1点	第22回四万十川ウルトラマラソン(高知県)			
9	88.9点	第23回奥武蔵ウルトラマラソン(埼玉県)			
10	87.9点	第5回飛騨高山ウルトラマラソン(岐阜県)			
10	87.9点	第24回武庫川ユリカモメウルトラ70kmマラソン(兵庫県)			

ランキングの集計は2016/11/24 03:17時点のものになります

② ランネット評価レポート（新着順）

黄色は改善ポイント 下線は高評価

●大会前日、派手さはないが心のこもった出迎え。当日もやや緩い感じのスタート。その雰囲気のまま、やわらかな空気にかこまれて、走っているうちに心も洗われる感じがする。路上にゴミがないのは参加者が少ないだけではない。コースは決して緩くはないが、こんなに気持ちよく走れる大会は少ない。今回はえちごの100km大会に続いて二週連続だったが参加してよかった。地元の皆様のおかげで完走できた。感謝です。

●2年連続出場！やはり最高の大会です。行政がからんでなくても、しっかり運営してくださってますし、スタッフ、ボラの方々、関係者すべてが良い大会ですね。沿道の応援が少ないが、ゆるりと応援してくれるおばあちゃん、癒されます。コースも平坦なコースより多少の坂がある方が、ウルトラは精神的に疲れません（毎回曾々木の海岸沿いが平坦で、一番暑い時間でつらい）。これも北陸でめずらしい晴れたおかげですが。来年も参加したいです。

●アップダウンのある割と厳しいコースでした。ぎりぎりのタイムでしたが完走できて良かったです。エイドはそれほど悪くなかったが、日中気温が高かったのに、塩を置いているエイドが少ないのが不思議だった。塩は珠洲の名産品の一つではないのか？ランナーに珠洲のおいしい塩を舐めてもらって、宣伝すれば良いのに。各エイドに珠洲の天然塩を置くべきだと思う。個人的にはウルトラマラソンの後半は暖かい飲み物（暖かいお茶や味噌汁）が好き。

●スタートからゴールまでストレスなく、走り続けることができました。今年は晴れて、海も凪いでいたので、素晴らしい景色を見ることができました。見附島で見た朝焼けはとてもきれいでしたし、白米千枚田から曾々木海岸、狼煙の灯台まで心に焼きつく断崖、奇岩、絶景を堪能することができました。その分、道は陰しいです。ラケット道路の傾斜はやばいです！エイドも充実しており、お腹一杯食べました。それとミネラルたっぷりの塩！とてもおいしかったです。塩田で塩づくりの作業を見ることもできてラッキーでした。珠洲の伝統衣装のどてらファッションを着込んだ子供たちがエイドで働いており、うれしくなりました。

●今年3月に初めてフルを走って次の大会がこのウルトラマラソンという無謀極まりない挑戦をした私。事前に参考にしたのは大会ホームページにある「コース攻略」とYouTubeの「PJOちゃんねる」でした。この2つでココロの準備を整えることができ、エイドと応援と絶景に支えられて無事完走することが出来ました。おもしろおかしく書かれたこのコース攻略、本当にまるっきり「そのまんま」です。あのページに珠洲ウルトラが凝縮されていると云っても過言ではないでしょう。この大会に挑戦しようと思われる方、こいつを頭に叩き込んでおきましょう。

●さすが里山里海を自信持って宣言しているだけある大会。たしかこの大会、開催当初は5回は続けたいとどこかで拝見した記憶があります。まさか念願叶ったからと言って今年が最後じゃないですよ。2年連続リタイアしてまだ珠洲焼や豚汁ワンちゃんに会えてないです。いや、これだけの大会を走ってないウルトラランナーが全国にまだたくさんいます！その人達のためにも是非来年も開催お願いします。私も完走メダルを取りに来年行きます。リピータが多い大会です。しかも、交通の便は良いとは言えませんが県外からの参加が多い。それだけ素晴らしい大会です。都度あるエイドの温かい声援、ありがたいです。体は疲れ果てますが、温かい物を頂いて帰路につきました。来年もお願いしますね。

●連続参加です。大会開催を、毎年待ち遠しく感じる程好きな大会となりました。アットホーム感・温かさ・少しユルイ（いい意味で。大会挨拶・メダル・Tシャツなどなど）ところ。反面コースは少し厳しいところもありますが、それも里山・里海の絶景や、エイドの個性的なボランティアの方々との会話が、疲れを癒してくれます。大きな大会ほど味気なく感じる場合もありますが、この大会は満足感いっぱいです。ずっと続いてほしい大会です。

●昨年に続き参加させて頂きました。景色良しコース良し、そしてなんと言っても人の良さを感じる大会です。企画会社が開催で1000人以上参加するような大きな大会も良いですが、私は手作り感があふれる能登半島すずウルト라마ラソンが大好きです。この大会は、コースの難度は決して高くありません。中程度といったところです。初心者でも十分に完走可能です。ただし、100kmではなく102kmなので、2km長い分のペースを考えなければなりません。100kmと考えたときには14時間でなく、13時間44分だと考えて走れば大丈夫です。

●初ウルトラに珠洲を選び出場してきました。他の大会は知らないのでコースの難易度は？？とにかく坂が多い！！しかし周りのランナーにアドバイスをもらいながら スタッフや沿道の方々の優しい声かけに触れながら楽しめました。景色もエイド(井ものやオロナミンC)もスタッフもサイコーでした。来年も是非出たいです。ありがとうございました。

●大会自体は最高。美しい海岸線、紅葉の山、軍艦島や塩田、狼煙灯台等観光も兼ねて走れる。エイドはやや弱体化も十分充実。芋はうまいし、その他地元系(塩～系)も充実。オロナミンCもいい。できれば後半コーラの追加を受付会場の太鼓等もてなしも素晴らしい。コースもウルトラマンご用達のドM仕様、緩い坂と制限時間が歩くことを許さない。さらにランレポ見て回答してくれる(改善してくれるとは限らない)。レポ書いたかがあるというもの。ここまでいい条件そろった大会はあまり無いが、ラン後は何も無いのが問題、正直アクセスは劣悪なのでツアー頼み。だがツアーではラン後22時に金沢にポイ捨てされるプランのみ。金沢に戻ると能登感皆無。土産すら買えない。能登井も食べたいし珠洲焼も物色したい。青の洞窟や能登水族館も行きたい。後夜祭要望とかではなく、もっと能登の余韻を楽しみたい！2日プランの復活を！和倉温泉宿泊プランとか提案したが受け入れられず。宿確保できれば和倉からは電車があるから自力で帰れるので再考を。又、ツアーでは宿が少なすぎる。民宿の斡旋も是非、参加者減だしテコ入れは必須かと

●昨年、100kmのデビュー戦として「能登半島すず」を完走し、気持ち良かったので、今年は60kmに参加させて頂きました。珠洲の雰囲気や虎の介の太鼓、宿泊先など、大会前日から気持ちがいいです。景観は見附島や日本海、狼煙灯台など変化に富み、飽きることはありません。また、元気なボランティアの皆さんや豚汁犬など、昨年と同じ顔を拝見し、嬉しくなりました。改善点があるとすれば関門時間で、狼煙をプラス10分、60Kmは9時間半にすれば、少しだけ完走率が上がるかも。個人的には、一週前の隔年開催100kmレースの疲れが残っていると思いきや、無事完走できたので超満足です。関係者やボランティアの皆さん、ランナーの皆さん、車から応援してくれたちびっ子さん、ありがとうございました。来年は100kmに戻ってきます！

●コースは、アップダウンが多く、坂が厳しいところがあり、結構キツカッタです。終盤、疲れた身体にはちょっとした登り坂も辛く、「まだ痛み付けるの」と感じてしまいました。見附島での朝焼け、輪島の棚田、日本海の海岸線がとても綺麗でした。そして、大会を運営してくれた皆さんの熱い思いが感じられる大会で

した。レース前日の受付時に披露された和太鼓の演奏はとても素晴らしかったです。来年も参加します。

●私自身は初回以来の参加となりましたが多くの人たちから元気をもらって完走することができました。

- ・折り返しやエイドで声を掛けてくれるランナー
- ・自作エイドでオアシスを作ってくれた若者グループ
- ・ラケット道路の頂上でオロナミンCを渡してくれるおじさん
- ・自転車で100kmを並走して励ましてくれたお兄さん

他にも町の人や運営の人のやさしさ溢れる大会でした。また来年も参加します！改善点として58～73kmが気温が高くエイドが遠く感じたのでもう一つエイドを増やしてほしいです。

●ウルトラ初参加 62キロの部参加しました。7割ぐらいの方が102キロなのでなんとなくおまけの62キロのような感じがしましたが、102キロなんてなんと長い・・怖い・・まあそのうち・・凄いの一言です。途中分岐の道でほとんどが左方向(102キロ)に行きましたので62キロコースはランナーが、まばら。山の中、前も後ろもない。一人ぼっち この道でいいのかな～？熊でも出てきたらどうしよう。天気が良いからいいけど 雨だったら、めっちゃ淋しいな～色んな事考えながら走りました。各沿道の皆さん本当に有難う御座います。涙がでそうな 暖かさを感じました。普通のマラソンの大会では経験できない感動を覚えました。ゴールであんなに歓迎されたのも初めてです。当日賞も頂きました。もし、この地区が交通の便が良ければウルトラベスト3に入る！！絶対のお勧めの大会です！！

●去年は70km過ぎで歩いているところを収容車に拾われてしまったので、今年はそんな後悔をしないように頑張りました。73kmの自然休養村エイド(関門)を過ぎてからは、歩かずに(歩いてしまうと次の狼煙の関門時間に間に合わないの)ラケット道路も走って登りました。86kmの狼煙の関門もギリギリに通過したので、96kmの本エイドの関門までも走り、制限時間の14時間に間に合わせるために残りの6kmも走り、制限時間5分前にゴールできました。去年、前半の八太郎峠と舟木谷峠で脚を使い切ってしまったので、今年はできるだけ後半に脚を温存するようにしました。

●エイドの食べ物では、特に名船エイドの羊羹が秀逸でした。また、ボランティアの方が「おかわりしていいね」と言ってくれたので往きと帰りでカレーも3杯たべました。地元の方の応援、ボランティアの方、実行委員の方たちのおかげで完走できました。ありがとうございました。

●初めて62キロに参加しました。Runnetでの評価9位の大会ってどれほどなのかと参加してみました。コース設定は最初の20キロを過ぎてからはアップダウンがずっと続くため、フルマラソンの比ではありません。大会運営は珠洲市民を巻き込んだホスピタリティ豊かな歓迎を受けました。何気ない一般車両や現地民家からの応援が歩きたい心を拒みます。あとは日本旅行等が全面バックアップによる手厚いサポートが随所に感じられます。今回は完走できましたが、来年100キロに挑戦したいか？と考えると。行きたいかなあ…辛いけど。

●3年ぶりに参加しました。今回初めての102キロでした。晴天にも恵まれ、美しい奥能登の海を見ながら結果的には楽しく走れました。40キロ過ぎに左足に電気が走るような痛みがあり、一時リタイヤも考えましたが、歩いているうちに不思議と痛みが引いてきました。ラスト7キロくらいから外灯、歩道のない道を独りぼっちで走りながら、ドキドキ感と共に不思議と高揚感が沸いてきて、久々に楽しいランニングがで

きました。所々でお会いする地元のおばあちゃんの飾らない小声の声援にも励まされて、制限時間30分前にゴールできました。ありがとうございました。

●初めての100k ウルトラに参加していました。大会関係者はこの「レポート&評価」を見て改善検討をしているようなので、こちらも真剣に評価し、いつものように○なところ、×なところを！

【○なところ】

- ・当日受付もある
- ・個人まりとしたフアフアが丁度良い
- ・実行委員会 会長の話がおもしろい（お決まりだけど）
- ・絶景の景色を見ながらのランが楽しい
- ・灯台を1周させるMなところがお茶目
- ・塩サイダーが美味しい
- ・大会関係者の意気込みを感じる
- ・エイドの運営が家族的 ・○なところは一杯ある

【×なところ】

- ・歩道进行する時に横方向に生えている草が苦痛（名舟～千枚田付近）

（細かいけど、自分の足が上がっていないので、乗り越えられない!?)

- ・各エイドの飲み物、カレー、パスタ、丼、豚汁の量が一定なのはいいのですが、あまり量が欲しくない人のために少な目を用意しては
- ・早朝はいいが、夕方は早くから暗くなるので足元がおぼつかない
- ・エイドのスイーツが少ない
- ・2k が影響してか完走率を下げている

●15時50分。本来であれば第三関門の狼煙燈台に向けて走っているはずが、今回は13時10分でレース終了。なんと第二関門の曾々木前でタイムアウト。4年連続バスに収用されました。3年前が82キロ、2年前が82.5キロ、去年が72キロ、そして今回は56キロでタイムアウト。年々悪くなっていることに反省です。大会運営は毎回文句無しに素晴らしい。本人の走力のみが問題です。年齢順のナンバーカードのお蔭で愉しく会話しながらランができます。今回の能登の里山里海の景色は最高でした。また来年リベンジです。



5. 各記録写真



おもてなしサロン（前日）



輪島虎之介演舞（説明会）



参加者受付



ラポルトすず



健民体育館



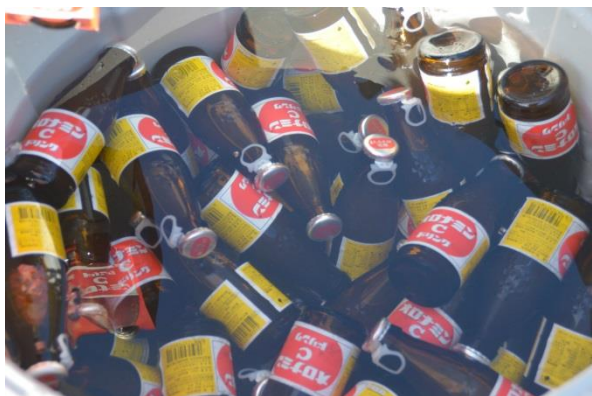
スタート前



朝焼けの軍艦島



軍艦島（タスキ回収）



オロナミンC（大塚製薬提供）



私設エイドの皆さん



町野エイド付近



名舟エイド（水ようかん）



千枚田折返し



舟木谷峠



曾々木エイド（日本製粉 pasta）



塩レモンサイダー



金沢星稜大ボランティア



自然保養村エイド



自然保養村エイド



椿峠



能登井提供（狼煙）



豚汁（95 キロ）



継走ゴール



ゴール

スタッフの皆さん



名誉会長 桜井さん



実行委員長 田中さん



完走祈願



イラストレーター 伊藤さん



有名 オロナミンおじさん



大会メダル



MC 辰巳さん



AIM スタッフ（収容車担当）

6. 第6回大会の方向性（案）

●大会概要（案）

■大会名	第6回 能登半島すずウルトラマラソン *同時開催予定 第3回能登半島すずウルトラ継走は検討
■主催者	能登半島珠洲ロードレース協会
■開催日	2017年10月15日（日）
■開催地	石川県珠洲市、輪島市
■募集スケジュール （案）	公式発表：2017年2月1日（ホームページ掲載も同日） 募集開始：2017年4月1日
■種目 及び目標参加者数	◇100キロの部 700名 ◇60キロの部 300名 合計1,000名
■コース	◇100キロの部（制限時間14時間） 正式には102キロ ◇60キロの部（制限時間9時間） 正式には62キロ
■参加費用（予定）	◇100キロの部 検討中 ◇60キロの部 検討中
■後援（予定）	石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、北國新聞社

（検討事項）

- ・58キロ～73キロのエイド箇所の追加
- ・狼煙関門の10分延長（現在、少し早く設定されている）
- ・ライト携行の強制化

●大会の開催の考え方

■大会テーマ	心はひとつ、道は厳しく、人はやさしく能登の道（第1回から継続）
■大会の目的	1) 奥能登と全国を結ぶ交流人口拡大（毎年500人のリピーターづくり） 2) 奥能登地区の住民の健康づくり、及び若年層の故郷愛の創出 3) 20百万以上の経済波及効果
■大会ビジョン	参加者にとって、珠洲は年2回訪れないといけない第二のふるさとにしてもらう
■本大会の特徴	1) 奥能登のメインの観光地および産物を十分に堪能してもらう 2) 数々のアップダウン等による完走率7割の厳しいコース設定 3) 地元ボランティアによるホスピタリティ（おもてなし）
■改善策	1) 誘導体制の強化 2) 市内の宿泊体制の強化（民宿、民泊、寺宿泊等の検討）【再構築】
■長期目標 （継続）	1) 第5回までは継続させる（～2017年）【達成】 2) コンスタンスに1000名の参加者を募る。リピーター率は4割を目標とする。 3) 能登井やワイン、塩など地域物産物と共に奥能登のブランド力向上に貢献する。 4) 参加、大会参画、ボランティアを含め、若年層を中心に理解を深めていく。小さい頃から具体的なホスピタリティを学ぶことができる大会を目指す【達成】 5) 自治体と民間の境界を越えた運営組織体制を創る。協会のNPO法人化等を検討

『道は厳しく、人はやさしく能登の道』



これからも手作り感満載で、能登の魅力とおもてなしをたっぷり提供していく大会を目指します

第5回能登半島すずウルトラマラソン大会

主催：能登半島珠洲ロードレース協会
石川県珠洲市飯田町28部ー33ダスキン飯田支店内
大会実行委員長 田中満博

- 企画協力および本資料作成：株式会社日本旅行北陸営業部
石川県金沢市広岡3ー3ー77 JR金沢駅西第一NKビル
- 大会事務局代行：株式会社日本旅行金沢支店